

# 40周年記念誌

## 夢とロマンのあるまちづくり



北野地区町内会連合会

## 目 次

## 御挨拶

創立 40 周年を迎えて	北野地区町内会連合会 会長 伊藤 昭夫 …	1
町内会連合会の創立 40 周年を祝して	札幌市長 秋元 克広 …	2
町内会連合会の創立 40 周年に寄せて	清田区長 山田 一八 …	3
町連創立 40 周年を迎えて	北野地区町内会連合会 顧問 飯田 淳二 …	4

## 北野のあゆみ 歴史

私たちのまち北野には、豊かな歴史がある ……………	5
---------------------------	---

## 町連 10 年のあゆみ

新会館建設 ……………	11
10 年間の歴代会長・表彰者・まちセン所長 ……………	17
北野地区町内会連合会創立 40 周年功労者表彰式 ……………	18
北野ふれあい夏まつり ……………	20
青少年音楽のひろば ……………	23
稚魚放流 ……………	25
連合会館新築後の防災活動 ……………	26
防犯（青色防犯パトロール隊） ……………	28
清田区交通安全指導員会・北野支部 ……………	29
北野少年消防クラブについて ……………	30
札幌市清田消防団北野分団 25 年のあゆみ ……………	31
札幌市赤十字奉仕団北野分団 ……………	32
福祉のまち北野の歩み ……………	33

## 北野の未来に向け

札幌市立北野小学校	39
札幌市立北野台小学校	41
札幌市立北野平小学校	43
札幌市立北野中学校	45
札幌市立北野台中学校	46
北野町内会	47
東北野町内会	48
南北野町内会	49
上北野町内会	50
西北野町内会	51
八望台町内会	52
北野団地町内会	53
朝日ヶ丘町内会	54
北野新和町内会	55
北野第二団地自治会	56
北野まきば町内会	57
北野グリーンタウン自治会	58
北野中央自治会	59
北野第3団地町内会	60
北野6・4・1自治会	61
北野サントウン自治会	62
北野すみれ町内会	63

# 創立 40 周年を迎えて



北野地区町内会連合会 会長  
伊藤 昭夫

北野地区町内会連合会がおかげさまで創立 40 周年を迎える事が出来ました。関係各位に心より御礼を申し上げます。

北野の地名が誕生した昭和 19 年、当時も町おこしに翻弄された先人の皆さまのご努力により町内会連合会が発足した昭和 58 年を機に、連合会の運営にご協力いただきました町内会・自治会、各関係機関の皆さまに感謝を申し上げる次第です。

北野地区は、中央に流れる厚別川、また吉田川の恩恵を受けながら大きく発展し、町内会連合会も北野ふれあい夏まつり、ヤマメの稚魚放流、両川の河岸草刈清掃など親睦を含めた事業を皆さまと共に行ってまいりました。

直近 10 年間では平成 27 年連合会館が新築となり、先人の思いを受け継いで福祉、防災、防犯、青少年育成、ボランティア活動などに新たに力を注いでまいりましたが、北野地区ももれなく住民の高齢化と共に町内会役員の担い手不足を含め各種事業運営に支障をきたしてまいりました。

昨今の町内会活動を見据え、札幌市は令和 5 年 4 月より「未来へつなぐ町内会さえあい条例」を施行し、町内会活動へ参加を努めるよう求めると共に、町内会の負担軽減の支援策を含め活性化の施策を出しましたが、住民の皆さまがまず志向、行動を変えることが大切と思います。

サッカーワールドカップでは多くの方が、勇気と元気を与えられました。力を合わせ懸命に目標へと進む姿に感銘を受けたものと思います。

福祉とは「しあわせ」「ゆたかさ」を意味すると言われておりますが、私たち一人一人が少しでも地域に参加する行動を今一度考えてみる必要があります。住民同士が共につなぐれば心身の健康にもつながり豊かな生活を送ることも出来ます。

北野地区町内会連合会は各町内会・自治会、各関係機関と、より連携を密にとり地域の発展と明るい住みよいまちづくりに皆さまと共に努めてまいりますので今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます

# 町内会連合会の 創立 40 周年を祝して

札幌市長  
秋元 克広



北野地区町内会連合会が創立 40 周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

北野地区の皆様には、常日頃から市政への深い御理解と御協力をいただいております。一例を挙げますと、本市では高齢者世帯等の除雪を地域の方に協力していただく「福祉除雪」を進めておりますが、北野地区ではこれに加えて、福祉のまち推進センターが調整役として除雪依頼者と中学校を取り持ち、中学生にボランティアで除雪作業に協力してもらうなど、ボランティア参加者の裾野を広げる取組も行っていただいております。また、防災の取組では、災害時の基本的なルールとして、基幹避難所である学校の扉は市職員が開錠しますが、清田区では北野地区からの提案をきっかけに、地元住民の方にも開錠に協力していただく「清田区避難所運営モデル事業」を令和 3 年度から開始しており、北野地区の皆様には小・中学校 5 校で体制を整えていただいております。この他にも多くの事業に対し、御支援と御協力を賜り、あらためて感謝申し上げます。

人口減少という時代の転換点にある今、子どもや高齢者の見守り、災害時の助け合いなどにおいて、地域における絆やつながりがますます重要となっております。とりわけ町内会は、わたしたちの暮らしを支えるさまざまな活動を行う地域の中核的な存在となっておりますが、その一方で加入率の低下や担い手不足などの課題を抱えています。

このような状況を踏まえ、町内会の意義や重要性をあらためて市全体で共有していくために、「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」を昨年 10 月に制定いたしました。これを基に、将来にわたって町内会を支援し、地域の皆様とともにより豊かで明るく暮らしやすいまちづくりを進めていけるよう力を尽くしてまいりますので、引き続き北野地区の皆様のお力添えをお願いいたします。

結びに、北野地区町内会連合会におかれましては、創立 40 周年を契機にさらなる御隆盛を御期待申し上げますとともに、皆様の益々の御清祥を心からお祈り申し上げます。お祝いのことばといたします。

# 町内会連合会の 創立 40 周年に寄せて

清田区長  
山田 一八



この度、北野地区町内会連合会が創立 40 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げますとともに、これまでの発展の軌跡が綴られた記念誌が刊行されますことをお慶び申し上げます。

北野地区は、町内会連合会が発足した昭和 58 年当時は、人口 16,891 人、5,378 世帯でしたが、40 年後の令和 4 年には、人口 21,991 人、10,794 世帯と大きく発展してきました。

人口の増加に伴い町内会連合会の活動も多彩となり、防災や福祉の分野で特に精力的に取り組を進めてこられました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が自粛となりましたが、令和 4 年 7 月には 3 年ぶりに「北野ふれあい夏まつり・花火大会」が開催され、会場を埋め尽くすほどの賑わいとなりました。このお祭りが北野に住む方々はもとより、清田区民・札幌市民に愛される夏の風物詩となっていることをあらためて実感いたしました。

誰も経験したことのないこの困難な状況下でも、地域の皆さんが団結し創意工夫をすればできることはたくさんあるという地域コミュニティの大切さを、北野の皆さんはいつも発信し続けてくださっています。

これもひとえに、北野地区町内会連合会の皆様が 40 年という年月の中で培ってきた結束力、行動力の賜物であり、心から敬意を表します。

清田区も今年 25 周年という節目の年を迎えました。まだまだ歴史の浅い区ではありますが、これからも「多くの方が行き交い、安心して住み続けたいまち」を目指し、職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、今後とも北野地区町内会連合会の皆様には、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、北野地区町内会連合会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から御祈念申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

# 町連創立 40 周年を迎えて

北野地区町内会連合会 顧問

飯田 淳二



北野地区町内会連合会の創立 40 周年を迎え心からお慶び申し上げます。  
昭和 58 年（1983）3 月清田地区町内会連合会から分離独立をして、北野の町に  
生まれました北野地区町内会連合会が今日の隆盛を迎えられましたのは、先人各位  
のご努力は勿論のこと、これ迄の町連役員の皆様のご努力と併せ、各町内会、自治  
会会員お一人お一人の多大なご理解とご協力があったの事と、厚く感謝を申し上げ  
ます。

初代遠藤三郎会長は北野の町を作り上げて行くのに「夢とロマンのあるまちづく  
り」との言葉をかかげ、以後北野に住む多くの方々がその目標に向かって自分達の  
町を築き上げる努力をされてきました。本当にありがとうございます。心から嬉し  
く感謝申し上げます。

平成 24 年（2012）11 月北野地区町内会連合会の 30 周年を迎えた時に発行し  
ました「情報誌きたの」の中に、「過去への感謝と未来への決意」と誓った記念の  
言葉は、今も忘れておりません。

令和 2 年（2020）世界中に広がったコロナの病は沢山の活動や行事をやむなく  
止めてしまいました。令和 4 年（2022）コロナ感染の治まりを見せた 7 月に北野  
町連は第 30 回北野ふれあい夏まつりを実施致しました。場内に響く力強い太鼓の  
音は多くの人に安堵の一時をあたえてくれました。夜には盛大な花火が上がり、北  
野のまちに明るく多くの人々に元気を、又喜びを与えました。

北野地区町内会連合会が 40 周年を迎えるにあたり、在住の子供から大人まで「夢  
とロマンのあるまち」へますます喜びを感じ、愛着を感じる北野に努めて頂くよう  
お願いいたします。

最後に関係各位のご健勝、ご多幸をお祈りし、お祝いの言葉と致します。

## ● 私たちのまち北野には、豊かな歴史がある ●

あしりべつ郷土館 川島 亨

清田区の母なる川、厚別（あしりべつ）川。その両側に広がる北野地区は、今では住宅が建ち並ぶ静かな住宅街ですが、以前は田んぼや畑が広がる純農村でした。今日の北野に発展するまでには、先人たちの並々ならぬ努力と苦労、頑張りがあったことでしょう。そうした先人たちに感謝しつつ、私たちの住む北野の豊かな歴史の一端を振り返ってみましょう。

近年、清田区里塚在住の郷土史家、了寛紀明さん（元清田小学校校長）の実証的な調査研究で、清田区の歴史がかなり明らかになってきました。この記述も、この了寛さんの研究成果に基づいたものです。

### (1) 北野の一級の歴史遺産 吉田用水跡

#### ■北野3条3丁目に残る吉田用水跡

北野3条3丁目に、細長い緑地帯が長さ500メートルに渡って伸びています。北野中学校前の北野通を渡った所から帯状に続いています。これは一体何だろうと不思議に思う人が地元でも結構いるかもしれません。案内板も何もないので無理ありません。これは明治25年（1892年）頃にできた「吉田用水」と呼ばれる素掘りの用水路跡です。現在は札幌市下水道河川局が管理する土地になっています。

吉田用水は、旧道の厚別（あしりべつ）橋下流300メートルの左岸（今の北海道コカ・コーラボトリング裏手）から取水し、北野、大谷地方面の水田に厚別川の水を供給した用水路でした。概ね幅2メートル、底辺幅1メートル、深さ2メートルという断面構造で、全長約5キロメートルに及ぶ手掘りの用水路でした。地主、小作人ら40人～50人により、スコップとクワだけで4か月で完成させたそうです。重機などのない時代ですから、大変な重労働の作業だったと思われます。「米を作りたい」「水田を造りたい」という当時の開拓農家の人たちの熱い思いが伝わって来るようです。

取水口には、有明から軟石を馬車で運び、厚別川の水位を上げるために積み上げました。川の流れを止めて吉田用水に注ぐようにしたのです。大雨や洪水などがあると石が流され、毎年、石を積み上げたそうです。

「吉田用水」という名は、当時、北野、大谷地、月寒に広大な農場を所有していた吉田善太郎という人の名にちなんでいます。吉田善太郎はじめ諸橋亀吉ら地元の開拓農民ら有志が力を合わせて、この用水路を完成させました。造成費用の大半は、用水路のルート上の地主である吉田善太郎と諸橋亀吉の2人が負担しました。これにより、100ヘクタール以上の水田ができ、北野、大谷地で米作りが盛んになったといえます。その後も、幾筋もの用水



吉田用水跡＝北野3条3丁目



路が作られ、北野や周辺は水田が広がる米どころとなっていきました。

用水路は毎年、泥やごみなどを掃除するなどの手入れ作業が必要で、農家の人たちは、用水組合をつくり、みんなで管理しました。田植え時などに厚別川の水を用水路に流すため、川の水を揚水しにみんなで取水口に来ました。そして川で釣った魚を焼いて、酒を飲んだりしながら米作りの話に花を咲かせたそうです。

清田という地名は、清らかな水田が広がっていることから命名されたものです。その歴史を遡れば吉田用水の造成にたどり着くというわけです。

時代は移り変わり、昭和45年（1970年）頃になると、清田、北野、大谷地の宅地化が進み、水田はなくなり、吉田用水も使用されなくなりました。そして、昭和48年（1973年）、最後の水田農家・八十島勝義さんの離農とともに、吉田用水は役目を終え、用水組合も解散しました。

当時、北野の古老・柳瀬清太郎さんは「父からよく聞かされたが、この用水はずいぶん苦勞して造ったもので、北野はこの用水掘りから部落が出来たようなものだった。水田をつくる人がいなくなったので用水組合を解散したが、父や爺さん達が苦勞して造った用水を手放したのはなんとなく心寂しさがあった」（「清田地区百年史」昭和51年刊）と話しています。

北海道コカ・コーラボトリング裏の厚別川左岸道路脇（清田1条1丁目）に、吉田用水の記念碑が建っています。大正8年（1919年）、当時の白石用水組合の発案で建立された碑です。記念碑は、かつての吉田用水取水口付近にあり、ここにたたずむと、先人たちの苦勞がしのばれ、感慨深いものがあります。

吉田用水（全長約5キロメートル）はほとんど埋め立てられましたが、北野3条3丁目の500メートル区間だけは、奇跡的にその痕跡が残り、今日に至っています。案内板などを設置して、この吉田用水跡を後世に伝えたいものです。



吉田用水跡の位置（緑色の線）

## ■吉田善太郎の足跡 今につながる歴史



吉田善太郎

吉田善太郎は明治4年（1871年）、父に伴われて月寒の開拓地に入植した44戸の1戸でした。当時10歳。清田開拓の祖、長岡重治と同じ岩手県からの開拓団の一員でした。吉田家は南部藩（岩手県）の藩士でしたが、明治になり生活が苦しくなって北海道開拓使の移民募集に応じてやってきたのです。父の没後、吉田善太郎は農地の所有拡大に努める一方、吉田用水の開削や白石用水の開削による水田開発のほか、月寒小学校の創立、月寒歩兵第25連隊の誘致、農商務省種畜牧場（現在の北海道農業研究センター）の誘致、日露戦争時の多額の軍費献納など数々の功績を残しました。

明治21年（1888年）、大谷地に居住地を移し、邸宅を建てました（今の栄通18丁目7番、コープさっぽろルーシー店裏手）。明治40年（1907年）頃には子息の善助をアメリカに酪農留学させるなど、かなり進取の気性に富んだ人物だったようです。大谷地、月寒などに広大な吉田農場、吉田牧場を広げ、経営しました。

吉田牧場内に明治42年（1909年）、洋風の別邸を建てました。この建物は現在、「八紘

学園栗林記念館」(豊平区月寒東1条12丁目)として残っています。吉田牧場のサイロと畜舎も、記念館近くに八紘学園資料館として残っています。八紘学園の創設者、栗林元二郎が吉田牧場の広大な土地を購入し、昭和6年(1931年)に八紘学園北海道農業専門学校を創設し、今日に至っています。八紘学園の牧草地も吉田牧場の名残です。吉田用水の開削に尽力した吉田善太郎の活躍の痕跡が、今も北野からほど近い八紘学園に残っているのは興味深いです。地域の発展に尽くした吉田善太郎は大正5年(1916年)に亡くなりました。

吉田善太郎の孫の吉田善哉は、競走馬生産の社台グループを創設。現在は、その息子、孫の世代になっていますが、中央競馬の重賞レースには社台グループの牧場で生産された競争馬が多数出走しており、社台グループは日本の競馬界の中心と言われています。新千歳空港からほど近い苫小牧市美沢にある馬のテーマパーク「ノーザンホースパーク」も社台グループの経営です。

こうした社台グループの隆盛のルーツを辿ると、かつて北野、大谷地に用水路を開いた吉田善太郎にたどり着くというのは、興味深いです。吉田善太郎の血を引く子孫たちにも、善太郎の進取の気性に富んだ事業家魂が受け継がれているのかもしれない。

## (2) 水稻試験場が北野にあった

吉田用水が引かれ、水田地帯となった北野には、かつて水稻試験場もありました。

厚別川の右岸の今の北野サンタウン(9棟、156世帯、1994年完成)と北野中央公園がある場所(北野5条4丁目)に、昭和42年(1967年)から昭和62年(1987年)頃までのおよそ20年間、農林水産省北海道農業試験場北野水稻試験圃場があったのです。面積はおよそ150アール(4,500坪)ほどでした。

この水稻試験場は、田の中橋の辺りから水路を造って厚別川の水を引き、北海道米の研究、改良試験を行っていました。北野が北海道稲作研究の中心地だった歴史があるのです。

しかし、北野の宅地化が進んだことから、羊ヶ丘の北海道農業試験場(現在の北海道農業研究センター)内に移転が決まり、昭和63年(1988年)と平成元年(1989年)の2年間で工事が進められ、移転しました。今も国道36号線と羊ヶ丘通に挟まれた農業研究センター敷地内に北野から引き継がれた水稻圃場があり、研究が続けられています。



かつての吉田善太郎の別邸。  
現在は八紘学園栗林記念館



水稻試験場が住宅地図に載っている。  
左側に厚別川=昭和53年発行

## (3) 北野にあった「青年の山」

今の北野2条2丁目あたりは、かつて霜踏山(しもふみやま)という小高い山になっていました。今では普通の住宅地になっており、昔の面影は全くありません。

この霜踏山2.3ヘクタールは、厚別(あしりべつ)青年会が大正3年(1914年)に地主より取得し、「青年の山」と呼ばれていました。厚別青年会は、青年の山を基本財産として、大正から昭和にかけて、地域において様々な活動を展開し、郷土の発展に大きな足跡を残しました。

厚別青年会は大正3年(1914年)に15歳以上の若者たちで設立しました。郷土愛に燃える青年たちが、次の時代の郷土あしりべつの発展のために立ち上がったのです。

青年会が発足した年の暮れ、さっそく基本財産として「霜踏山」を取得しました。取得金額は、当時のお金で137円50銭。この資金は、青年たちが以前から毎月5銭を各自貯金して積み立てていたお金であり、みんなで山林の下草狩りなどして得た労賃をため



厚別青年会の青年の山

たお金でした。青年会は翌年、桜500本、松200本、カラマツ5,000本を植樹しました。毎年、みんなで「青年の山」の下草狩りなどを行い、管理を続けました。

厚別青年会は、厚別神社の祭典の準備や演劇大会、相撲大会、運動会、映画上映会、弁論大会、夜学会(算術、算盤、作文など)、農業試験場視察などの各種研修旅行、各種スポーツ・レジャー活動、講演会など様々な活動を企画、実践しました。

こうした活動はおおむね昭和20年代までは続けられたようですが、昭和30年代になると、都市化とともに農家が減少し、青年会の団員も数名まで減って、厚別青年会は昭和40年(1965年)に解散となりました。

郷土の発展に大きな足跡を残して解散した厚別青年会は、大きな財産を残してくれました。北野の「青年の山」です。「青年の山」を2,400万円で売却し、このお金をもとに、厚別神社境内に集会所「清田会館」と裏のグラウンド(今の厚別神社駐車場)を昭和45年(1970年)に造りました。



清田会館

清田会館は、木造モルタル2階建て、延べ330平方メートル。当時、清田地区には集会施設はほとんどなく、清田会館は地域住民にとっても歓迎され、誇りだったといえます。町内会の会合や老人クラブの憩いの場、各種サークル活動など集会場として、地域の人たちに親しまれました。その後、清田区民センターや各町内会館などの集会施設ができたことと、老朽化もあって、平成14年(2002年)に閉鎖、解体されました。

今、厚別神社境内の清田会館があった場所に「清田会館の跡」という小さな石の顕彰碑が建っています。説明文がないので、「清田会館って何だろう」と思う人も多いかもしれません。こ

の「清田会館の跡」碑には、かつて郷土の発展を願って奮闘した厚別(あしりべつ)の青年たちの活躍と熱い思い、そして北野にあった「青年の山」の記憶が詰まっているのです。

#### (4) 人の名前がついた北野の橋

北野を流れる厚別（あしりべつ）川には、東北通りに架かる「柳瀬橋」、北野中央公園たもとに架かる「高木橋」、清田高校たもとに架かる「田の中橋」と、人の名前の付いた橋が3つもあります。清田地区の清田公園とコカ・コーラ裏手の間に架かる「実（みのる）橋」を入れると、この地域には、人の名前が付いた橋が4つあることになります。いつから名前が付いたか不明ですが、古くから地域の人たちが呼称していたようです。

高木橋の命名は、橋の近くに住んでいた高木家に由来します。田の中橋の命名は、橋の近くにお住まいだった田中南三氏に由来するそうです。田中南三氏は、札幌市議を務めた市政功労者で地域に貢献した人です。柳瀬橋も、近くにお住まいだった柳瀬家に由来する命名でした。実橋も、近くにお住まいだった山崎実氏に由来する命名だそうです。

いずれも地域に貢献した名士、実力者で、橋を架ける際にも地域の中心になり、橋に名前が残ったものと思われます。

各橋は、今は丈夫で立派な橋になっていますが、昔は木橋でした。「木を割って並べたものだった。だからとても危なかった」との北野の人の証言が残っています（「清田地区百年史」昭和51年刊）。

また、「とよひら物語—古老をたずねて」（札幌市発行＝1992年）には、柳瀬橋の近くの北野に居住していた柳瀬清太郎氏（明治37年生まれ）の話が掲載されています。

「厚別（あしりべつ）川には橋なんか架かっていなくて、平岡の方へは行くことができなかった。厚別（あしりべつ）の郵便局（今の清田郵便局）に届いた郵便物は、集配の人が川の向こう側にやって来て、大きな声で「柳瀬さーん」と叫ぶんだ。そして河原に落ちている石に郵便物をしぼりつけ、こっちへ投げて寄こすんだ。そんなことをしているうちに、柳瀬橋、高木橋、田の中橋ができたんだ。これで平岡方面へも行き来ができるようになった」

昔の人の苦労が伝わってきます。木の橋一つ架けるのも地域の念願だったのでしょ。

なお、北野通に架かる「北野橋」は、よくある地名の付いた橋です。厚別（あしりべつ）橋は、札幌本道（室蘭街道＝今の旧道）に架けられた橋で、何度もかけ替えられたようですが、地域で最も古くからあった橋です。「北野ふれあい橋」は昭和63年（1988年）に完成した歩道橋で、毎年7月、この橋の周辺で北野ふれあい夏まつりが開催されます。



#### (5) 北野にあった札幌ゴルフ倶楽部

北広島市輪厚の札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースは、小樽市銭函の小樽カントリー倶楽部とともに北海道のゴルフ場を代表する名門ゴルフ場です。その前身となる札幌ゴルフ倶楽部「月寒（つきさつ）リンクス」は、昭和の初めから戦時中まで今の清田区北野から豊平区月寒東にかけての場所にありました。

月寒リンクスは昭和7年（1932年）にアウト9ホールで開設され、昭和8年にイン9ホールが増設されてアウト・イン18ホール（6200ヤード、パー72）の本格的なゴルフ場

として誕生しました。

場所は、郷土史家の了寛紀明さんによると、概ね清田区側は今の北野1条1丁目、同2丁目、北野2条1丁目、同2丁目、さらに北野通を越えて北野3条1丁目。豊平区側は月寒東1条20丁目、月寒東2条20丁目、北野通を越えて吉田川公園の南半分。ゴルフ場の西側の敷地を吉田川が南から北に流れ、北野側は今の旧道の坂下広場近くまで敷地がありました。今の豊平区体育館（月寒東2条20丁目）は、すっぽりと月寒リンクスの敷地内でした。

クラブハウスは、洋風で牧舎風のしゃれた建物でした。場所は、今の国道36号線沿いの「つきさむ温泉」の西側駐車場付近だったといえます。

このゴルフ場の南側は、かつての室蘭街道（札幌本道＝旧道）、今の国道36号線に面していました。道路を挟んだ向かい側は農務省月寒種羊場（現在の北海道農業研究センター）があり、北海道らしい雄大な風景が広がるゴルフ場でした。

月寒リンクスの場所は、明治・大正時代、嵯峨牧場という牧場があった土地でした。昭和5年（1930年）、北海道拓殖銀行の所有地になり、それを札幌ゴルフ倶楽部が借り受けてゴルフ場を造成しました。

当時、銭函に昭和3年（1928年）に開場した小樽カントリークラブがありましたが、札幌の財界人やゴルフ愛好者らの間で「自分たちのゴルフ倶楽部を」という声上がり、月寒リンクスを造ったといえます。開場当時、会員は100人ほどで、札幌の財界人、学者、名士らがプレーしたそうです。土曜・日曜は地元の小学生がキャディーを務めたといえます。しかし、戦争の激化に伴い、昭和18年（1943年）10月、ゴルフ場は閉鎖されました。ゴルフ場は食糧増産のための畑となり、戦後は農地解放により自作農の農地となり、やがては宅地化の波が押し寄せました。札幌ゴルフ倶楽部のゴルフ場は、その後、昭和33年（1958年）に北広島市輪厚で復活しました。かつての「月寒リンクス」を引き継いで札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースとして今日の隆盛に至っています。



月寒リンクス＝「豊平町写真帖」  
（札幌市中央図書館所蔵）



月寒リンクス位置図（緑色の線で囲った部分）＝了寛紀明氏作成

札幌ゴルフ倶楽部のホームページには次のような記載があります。「札幌ゴルフクラブの歴史は、戦前の昭和7年に遡ります。当時、小樽カントリー倶楽部がありましたが、札幌のゴルフ愛好家たちにより自分たちのクラブをとということで、国道36号線、現在の中央バスのあたりに月寒リンクスを造りました」

清田区北野の地にかつてあった、東京以北随一の名門ゴルフ場。北野には、このような歴史もあったのです。

## 新会館建設

### 1 建替の経緯

北野連合会館は、地域住民が気軽に利用できる市民集会施設として北野まちづくりセンターを併設し、地域におけるまちづくり活動や地域の各年代の様々な親睦活動に幅広く利用されております。

会館は昭和57年に建築されましたが、建築から30年近く経過し老朽化が著しく会館の運営に支障が出ていること、北野地区は「災害時要援護避難支援」モデル事業などの活動を積極的に展開しているが、会館は老朽化等により災害時の収容避難場所として指定されることが難しく、地区の防災拠点として大きな不安を抱えているなどの課題がありました。

これらを踏まえ、平成24年8月に北野地区町内会連合会から札幌市へ「建替え要望書」を提出したところ必要性が認められ、平成26年度に建替工事、平成27年度から新会館の運用を開始しました。



旧会館



新会館

	旧会館	新会館
延べ面積	386.37 m <sup>2</sup>	449.34 m <sup>2</sup>
居室	集会室 (115m <sup>2</sup> ) 会議室 (32m <sup>2</sup> ) 福まち事務室 (32m <sup>2</sup> ) まちセン事務室 (30m <sup>2</sup> )	大集会室 (135m <sup>2</sup> ) 中集会室 (49m <sup>2</sup> ) 小集会室 (28m <sup>2</sup> ) サロン (18m <sup>2</sup> ) 福祉まち事務室 (25m <sup>2</sup> ) まちセン事務室 (27m <sup>2</sup> )
その他		太陽光発電 (4kW) + 蓄電池 (5kWh)

## 2 地域意見の反映

平成25年度に、地域住民の方の意見を会館建替えに反映するために、町連役員と各町内会・自治会長による「北野連合会館改築検討委員会」(全5回)を設置するとともに、各町内会・自治会や各団体・サークル等に、改築を考える「意見交換会」(全2回)への参加を呼びかけ議論を重ね、平成25年7月に札幌市へ設計に関する要望を提出しました。



検討委員会



意見交換会①



意見交換会②

### 設計に関する 市への 主な要望

大集会室を1階に、2階に中・小会議室を配置してほしい。  
遮音に配慮した区切りを。

会館内はバリアフリー化するとともに、高齢者や障がい者  
にも配慮した施設に。

駐車場は、可能な限り駐車台数を多く。駐輪場を設置して  
ほしい。現行駐車場の出入口は清田通に面するとともに急  
な坂道で電柱が視界を遮っていることから、出入口の変更  
などを考慮していただきたい。

災害時や停電時に対応できる地区会館となるように、自家  
発電機能や非常時の備蓄などを考慮した施設としていただ  
きたい。

### 3 工事の実施

札幌市都市局建築部の発注により、平成25年12月～平成26年3月に旧会館の解体工事、平成26年6月～12月に改築工事が行われました。



平成26年6月30日 着工式・地鎮祭



北野連合会館建設期成会 笹出会長が鍬入れ



工事状況 8月6日



工事状況 8月20日



工事状況 9月3日



# 町連10年のあゆみ



工事状況 9月10日



工事状況 9月24日



工事状況 11月19日



工事状況 12月4日

平成27年1月に内覧会を開き、地域の方々など約130名に新しい会館を見ていただきました。



内覧会



1階サロン  
無料で住民が自由に利用できる



車椅子で利用できる多目的トイレ



1階大集会室 旧会館に比べて一回り大きく。1階になり、より利用しやすく。



2階中集会室



2階小集会室

#### 4 落成式

平成27年1月25日に完成落成式を行い、約120人の地域の方々に出席していただきました。落成式典では、清田区長から、同会館の建設に協力をしてきた北野地区町内会連合会の飯田会長など、団体・企業・個人を代表する3名に感謝状が贈呈されました。

その後の祝賀会では、市民まちづくり局長や清田中央地区町内会連合会長から祝辞が述べられ、区内のお祭りなどで活躍する北野響楽太鼓による演奏も披露されました。



#### 5 建設費用の御寄付

会館改築にあたりましては、企業・団体89者、個人60名の皆様から、多額の御寄付をいただきました。あらためまして御礼申し上げます。

皆様からの御芳志につきましては、会館建設資金の一部として札幌市に寄付いたしました。



平成26年12月  
会館建設資金として、北野連合会館建設期成会から札幌市に寄付



会館建設ご芳名

## 10年間の歴代会長・表彰者・まちセン所長

## 北野地区町内会連合会会長



故・濱田 英彦  
平成19年度～平成25年度



飯田 淳二  
平成26年度～平成28年度



伊藤 昭夫  
平成29年度～現在

## 札幌市自治振興功労者



故・濱田 英彦  
(平成25年)



石橋 邦彦  
(平成25年)



飯田 淳二  
(平成28年)



林 進一  
(令和元年)

## 北野まちづくりセンター所長



伊藤 誠  
平成26年～27年  
(15代)



藍原 満  
平成28年～29年  
(16代)



納 真悟  
平成30年～31年  
(17代)



山田 英晴  
令和2年～3年  
(18代)



坂本 哲史  
令和4年～現在  
(19代)

## 北野地区町内会連合会創立40周年功労者表彰式

日 時 令和5年2月16日(木) 午後5時  
場 所 北野連合会館1階大会議室

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>【理事】</b></p> <p>尾上 潤吉 (朝日ヶ丘町内会会長)<br/>         琴崎 猛 (北野団地自治会会長)<br/>         杉山 正晃 (北野6・4・1自治会会長)<br/>         河本タカ子 (前北野地区民生児童委員協議会会長)<br/>         小川 幸光 (北野町連防犯部長)<br/>         小友 均 (北野町連副会長)</p> <p><b>【福まち】</b></p> <p>・福祉推進委員長 太田 眞 (北野中央自治会)<br/>         ・遊布の会 土池三枝子 (南北野町内会)<br/>         佐藤 裕子 (西北野町内会)<br/>         坂本由美子 (上北野町内会)</p> <p>・子育て支援 猪師 宏恵 (北野まきば町内会)<br/>         ・相談室 大井 章子 (東北野町内会)</p> <p><b>【体育部】</b></p> <p>富原 理数 (上北野町内会)<br/>         平野 茂 (北野まきば町内会)<br/>         西川 優滋 (南北野町内会)</p> <p><b>【青少年育成部】</b></p> <p>中川 康 (東北野町内会)<br/>         奥野 廣美 (南北野町内会)<br/>         扇 一弘 (朝日ヶ丘町内会)<br/>         福原 昭夫 (東北野町内会)</p> | <p>岡本 諒 (北野中央自治会会長)<br/>         天岡 環 (八望台町内会会長)<br/>         山本 徹 (北野サンタウン自治会会長)<br/>         平山 加代 (北野町連副会長兼福まち運営委員長)<br/>         嶋田 茂春 (北野町連交通安全対策部長)</p> <p>中山 直子 (八望台町内会)<br/>         坂東みち子 (東北野町内会)<br/>         入谷 邦子 (北野すみれ町内会)</p> <p>長谷川直美 (東北野町内会)</p> <p>脇澤 辰男 (南北野町内会)<br/>         清野 忠雄 (北野第3団地町内会)</p> <p>高木 政昭 (南北野町内会)<br/>         永井ゆかり (八望台町内会)<br/>         奈良健太郎 (北野まきば町内会)</p> |
|---|--|



嶋田茂春 山本 徹 杉山正晃 小友 均 小川幸光  
平山加代 琴崎 猛 尾上潤吉 伊藤会長 岡本 諒 天岡 環 河本タカ子

体育部／青少年育成部



永井ゆかり 高木正昭 富原理数 伊藤会長 脇澤辰男 清野忠雄  
 (欠席) 平野 茂 西川優滋 中川 康 奥野廣美 扇 一弘 奈良健太郎 福原昭夫

福まち



佐藤裕子 坂本由美子 坂東みち子 大井章子  
 土池三枝子 太田 眞 伊藤会長 平山運営委員長 入谷邦子  
 (欠席) 中山直子 猪師宏恵 長谷川直美

## 北野ふれあい夏まつり

北野ふれあい夏まつり（以下夏まつり）は、コロナ禍のため2年間開催ができませんでした。今年（2022年・令和4年）は、北野地区町内会連合会（以下北野町連）が創立40周年を迎えるとともに、夏まつりも30回目を迎えます。

この節目の年なので、コロナ禍ではありますが夏まつりを開催して、北野地区の皆さんに元気を届けたいという、北野町連の熱い思いが通じ、3年ぶりに開催にこぎつけることができました。

待ちかねていましたとばかりに、これまでにはない多くのひとが会場に押し寄せ、大変な賑わいとなりました。

夏まつり恒例の花火大会が近づく頃には、夏まつり会場の河川敷地だけでなく、周辺の堤防の上にも多くのひとが詰めかけ（特に飲食エリアでの露天商テント付近）過去最多の人出となりました。

子どもたちがお父さん・お母さん・お爺ちゃん・お婆ちゃんと連れ立って、夏まつりを楽しむ姿は、子どもたちの思い出の一コマに刻みつけられると思います。

今年は、コロナ禍の中での開催なので、夏まつり会場を物販エリア・ステージエリア・飲食エリアに区分するとともに、飲食エリアへの移動は一方通行として、入口での感染対策（検温・手指消毒）を徹底して行いました。

飲食エリアは、例年よりも奥に広げて倍のスペースとして、北野町連スタッフの出店は取りやめて、キッチンカー2台・清田地区商工振興会・福祉関係・露店商のみの出店としました。

物販エリアでは、東部商事（野菜・果物）・タイシン産業（しいたけ）等に加え、40周年記念ビール販売・あしりべつ郷土館による「北野の歴史パネル展」も行いました。



ステージエリア



飲食エリア（露天商テント付近）



飲食エリア（露店商・金魚すくい）



物販エリア（東部商事・野菜・果物）

開会を告げる花火が打ち上げられ、北野響楽太鼓の元気な太鼓演奏により午後1時に開幕。主催者挨拶、来賓紹介などのセレモニーの後、河川敷にセットした特設舞台で様々な団体・グループのステージ発表が行われました。

創設30周年を迎えた札幌北野少年少女合唱団には、北野町連より感謝状の贈呈が行われ、同合唱団の美しい歌声が響きわたり、北野小・福住小合同バンドによる軽快なジャズ演奏、清田ダンスキッズ・ダンススタジオミルミ倉庫の元気な踊り、バンド演奏、子どもたちと一緒にきよっち音頭、ビンゴゲーム大会、北海盆踊り、三線演奏、カラオケ大会などが花火大会直前まで繰り広げられました。



開会式



北野響楽太鼓



札幌北野少年少女合唱団



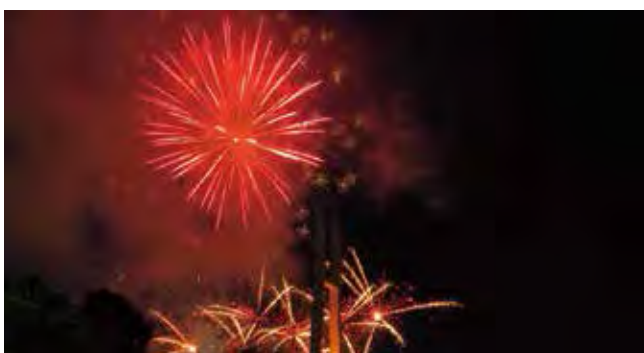
北野平小・福住小合同バンド

夜には、北野地区町内会連合会員の協力と地域の企業・団体の協賛で、花火が打ち上げられました。

北野の花火は、花火と音楽との共演です。夜空に壮大に輝く花火が、音楽とシンクロして打ちあがる姿は最高のエンタテインメントとなっています。

花火が打ちあがるたびに、拍手の大輪の輪が広がっていきます。

今ではこの花火大会は、札幌でも有数の花火大会に数えられるようになりました。







創立40周年を記念して作成した記念ビール（2本セット）は、スタッフ総勢150名、来賓者、出演者には当日渡して、協賛企業・団体（1万円以上）には後日届けました。販売を予定していた数量については、完売いたしました。

夏まつり会場に水道が設置されていなかった頃は、大きな給水タンクに北野連合会館の水道から水を詰めて、ユニック車で会場に運び設置、無償提供のステージは保管している真栄倉庫から運び設置、テントは前日に町連スタッフが総出で設営していました。テント内では、北野町連青少年育成部が焼き鳥、女性部が焼きそば等を作り、日赤奉仕団がとうきびをゆでて販売していました。

水道が設置されて、ステージ・テント設営撤去は業者委託となり、町連スタッフ負担が軽減されたのですが、コロナ禍により、その様相が一変してしまいました。

北野町連各部が手作りをしていた飲食物の出店は取りやめ、当日朝のテント設営、花火大会終了後のテント撤去は、町連スタッフと単位町内会の協力により一緒に行うなど、運営方法が大きく方向転換となりました。

これからも、夏まつりの運営方法は時代の変遷とともに、新たな発想による転換を余儀なくされますが、先輩たちが残してくれた夏まつりの手作り感と、北野町連及び北野住民が抱いている、夏まつりへの熱い思いを大事にして、北野地区のシンボルである北野ふれあい橋の下で、北野地区が誇れる地域住民主体の北野ふれあい夏まつりを続けていきたい。



## 青少年音楽のひろば

北野地区町内会連合会発足当初（1983年・昭和58年）は、少年少女球技大会を行っていましたが、スポーツの多様化等による参加者の減少により、文化活動面へ活動の場をシフトすることとして、「北野地区青少年音楽のひろば」を立ち上げました。

1982年に開設された清田区民センターには、音響効果の整った舞台と観客席を有する区民ホールが整備され、音楽活動の発表の場が広がりました。

1989年（平成元年）に、北野台中学校を会場校として、北野台小学校（合唱・スクールバンド）、北野小学校（器楽合奏・1996年から北野太鼓）、北野平小学校（吹奏楽・1994年から金管バンドに名称変更）、北野中学校（吹奏楽）、北野台中学校（合唱・吹奏楽は1996年まで）が参加して開催されました。（清田区民センターホールは参加人数が多くて使用できませんでした。）

1990年に北野児童合唱団が北野地区青少年育成委員会を母体として創設され、初参加となりました。現在では札幌北野少年少女合唱団（1993年）に名称を改め、小学生から高校生まで団員層が広がり、地域合唱団として活躍しています。

1996年からは、高齢者の方々に会場にご招待しての開催となり、2001年に清田高等学校吹奏楽局が初参加となりました。

会場は、小学校3校・中学校2校の体育館を使用しての持ち回り開催とし、開催日は12月の第1土曜日とすることとしています。

コロナ禍により、2020年はオンライン開催となり、2021、2022年は中止となりました。

今では、500名を超える演奏者と聴衆が集う音楽活動発信の場となっています。

演奏者は日頃の練習の成果を発揮するとともに、お互いの演奏を聴き音楽の資質を高め、各学校間のコミュニケーションもとられるようになりました。

地域の方々は各学校の演奏を楽しみ、最後は合同合唱で童謡・唱歌（ふるさと・赤とんぼ等）を一緒に歌い、遠い昔に思いを馳せて懐かしがっています。

「北野地区青少年音楽のひろば」は、小学校・中学校・高等学校との垣根を越え一堂に会して、地域の方々に感動を与える音楽活動の発信の場として続けていきたい。



札幌北野少年少女合唱団



北野小学校 北野太鼓



北野台小学校 器楽合奏



北野平小学校 金管バンド



北野台中学校 合唱



北野中学校 吹奏楽



札幌清田高等学校 吹奏楽局



合同合唱

## ここはふるさと♪ ～札幌北野少年少女合唱団～

札幌北野少年少女合唱団 代表 室内 文

「先生、あした、おまつり行く?」「たのしいよ～、北野のおまつり!」夏が来ると毎年聞いている言葉でした。2022年7月16日、コロナ後ついに再開された北野ふれあい夏まつり。私達はそのお祭りのステージにいました。

河川敷の広場に作られたステージに60名の団員は乗りきれず、地面いっぱい広がって。ふと見ると、堤防に作られた観客席には人、人、人、子どもから大人まであふれるほどの人々。今年初めてのステージ、1曲歌うごとに私達を包み込むような大きな大きな拍手!たくさんの笑顔♡本番が大好きな北野の子ども達は、カラフルなポロシャツに身を包み思いきり弾けて歌いました。「お祭りで歌うの、楽しかったー!」と子ども達も笑顔でいっぱい。

そして更に待っていたのは、懐かしい方々との再会でした。かつて小学生だった団員はママに、かつての保護者はお孫さんと一緒のおばあちゃまに(^^♪今は他の地域に住んでおられるという方の姿も。「合唱団、続いているんですね!」「チラシで見て、聴きにきましたよ!」「先生、お元気そう!(はい、元気です!(^^)!)」などなど想像もしていなかった嬉しい再会が続きました。

北野のお祭りは、地域に根付き、人と人を結ぶ素晴らしい行事なのだと思います。

楽しい一日の締めくくりはやっぱり花火でしょ!と河川敷で大迫力の花火大会を堪能、北野のお祭りを自慢げに話していた子ども達のことを思い出しながら。

そんな北野の地域に誕生してから32年。私達の合唱団は、発足当時は「北野児童合唱団」という名称でしたが、いつしか団員が増え団員層も広がり、「札幌北野少年少女合唱団」と名称を変更。「小学校を卒業しても歌い続け、生涯音楽を愛する人に育ててほしい」「札幌から全道、全国へ羽ばたく合唱団を目指そう」という願いを込めてのことでした。

32年間変わらない地域の方々の温かな応援、32年間活動場所として私達を受け入れて下さった北野小学校、愛され育まれてきた私達は本当に幸せです。そんな中で、ミュージカルの上演、オーケストラとの共演、全道の合唱団との交流、全国大会への参加など活動を広げることができました。

♪めぐり合いたい人がそこにいる やさしさ広げて待っている…ここはふるさと♪嵐の『ふるさと』の一節です。

ふるさと北野で、私達はこれからも元気に活動を続けます。



## 稚魚放流

### あしりべつ川ヤマメ稚魚放流

「あしりべつ川ヤマメ稚魚放流」は、北野の子どもたちに、あしりべつ川を故郷の川として慣れ親しんでもらい、ヤマメの住む清流を守っていこうと、北野地区町内会連合会と北野地区青少年育成委員会が、1983年（昭和58年）の北野地区町内会連合会発足以来、毎年5月に実施しています。

「一般社団法人北海道山女魚を守る会」も共催者として協力してくれています。（コロナ禍により、2020年・2021年は青少年育成委員のみでの放流となりました。）

「山女魚を守る会」が、喜茂別の養殖場で大事に育てたヤマメの稚魚を、あしりべつ川に運んできた後、青少年育成委員の手により大きな水槽（酸素吸入装置付き）に移します。

子どもたちはちいさなバケツに、水槽からタモですくって稚魚を入れてもらおうと、初めて間近で見る5センチ程のたくさんの稚魚に歓声を上げながら川べりに向かいます。

バケツからそっと稚魚を放流しながら、「大きくなって戻ってきてね」・「元気でね」・「行ってらっしゃい」と声をかけながら次々と稚魚を放流し、手をふりながら稚魚を見送っています。



水槽から子どもたちのバケツに



放流開始のテープカット



元気でね 帰ってきてね

放流をしたヤマメの稚魚は、ほぼ1年間、あしりべつ川で生息し、翌年雪解け後に石狩川を経て日本海へ、3～4年後に再びあしりべつ川に戻ってきます。海に出るとサクラマスと呼びます。

開始当初は、フナ・ウグイ・サケを地元の養殖池から運んできて放流をしていたのですが、柳瀬橋下でヤマメの稚魚放流を行っていた「山女魚の会」の協力を得て、北野ふれあい橋下でのヤマメ（北海道ではヤマベと言うが）の稚魚放流となったと、先輩から伝え聞いています。（ヤマメは綺麗な川に住むと言われていいます。）

また、1979年に札幌の中心を流れる豊平川にサケを呼び戻す、「カムバック・サーモン・キャンペーン」がスタートしていたことも、あしりべつ川ヤマメ稚魚放流を始めることの、大きな要因となったそうです。

子どもたちが自然に親しみ自然を大事にする心を養うとともに、あしりべつ川の清流の保持に努め、「あしりべつ川にサクラマス呼び戻そう」の思いを、子どもたちによるヤマメの稚魚放流を通して、これからも伝えていきたいです。



あしりべつ川ヤマメ稚魚放流



北野地区青少年育成委員の皆さん

\*河川名は「厚別（あつべつ）川」ですが、清田区では昔から「あしりべつ川」と呼ばれています。

## 連合会館新築後の防災活動

北野地区町内会連合会は平成20年札幌市の第3次地震被害想定発表後、北野防災研究会設立総会を立ち上げ、平成22年第一回記念講演会をNPO法人環境防災総合政策研究機構理事の新谷融先生の講演を機に、毎年講演会を重ね、災害対策の取り組みを重ねてまいりました。

会館新築後は防災訓練と避難所運営に重きを置き地域の皆さまと活動を行ってまいりました。

### ●平成27年9月 北野地区宿泊型防災訓練 町連、単町会長・防災部長 34名

簡易ランプ、簡易スリッパ、簡易トイレ、AED他町連会館で避難所の体験を行う目的で実施致しました。夕食は日赤奉仕団の皆さんがカレーを、朝食は簡易食でした。



### ●平成28年9月 北野地区宿泊型防災訓練 単町会長・防災部長 34名

ダンボールベッド作成、応急手当、ロープ結束、AED他 宿泊



### ●平成28年11月 防災ワークショップ 豪雨をふまえ 42名

各ブロック毎による日常、また避難時の危険な場所、避難経路を地図上で検討



### ●平成28年12月 北野地区手作りハザードマップ作成 1回目 43名

### ●平成29年2月 北野防災住民の集い 清田区民センター 160名

北野のみならず清田区の方にも参加して頂きました。

演題 「直下型地震」、「近年の豪雨に学ぶ防災」



- 平成29年9月 第1回北野地区防災訓練 北野中央公園 清田消防署・北野消防団員・日赤奉仕団 単町5～7名参加158名  
土のう積、消火、救出、応急手当、防災資機材点検他北野各町内会・自治会で共通の防災体験目的として実施



- 平成30年3月 北野地区防災マップ発行  
北野地区全会員にマップ配布
- 平成30年9月 第2回北野地区防災訓練 北野小学校 162名  
タンカー搬送、救出救護、応急手当、AED、ダンボールベッド作成他



- 平成31年3月 防災研究会 67名  
演題「地震災害について」「厳冬期の避難運営」
- 平成31年10月 防災訓練 災害時の対応 36名  
給水車からの給水、HUG 研修



- 令和元年10月 基幹避難所での避難運営町内会・自治会  
会長会議 21名  
避難所開設において避難者受け入れ、受付対策、運営上の役割などの検討



- 令和2年12月 避難訓練 各校区（北野小学校、北野平小学校、北野台小学校）各町内会・自治会会長または防災部長 33名  
避難所キーBOX 備蓄庫 貯水槽・防災無線の確認

- 令和3年9月 避難所研修 町内会・自治会会長



平成30年9月6日未明に起きた胆振東部地震で大きな体験と教訓を得ました。予想される千島・日本海溝地震、札幌市の直下型地震に備え、個々人はもとより、地域全体で防災対策に今後とも取り組んでいかなばなりません。

何卒よろしくお願い申し上げます。

## 防犯（青色防犯パトロール隊）

### 青色防犯パトロール隊の歩み

パトロール隊長 小川 幸光

全国的な自主防犯パトロールの高まりと青色回転灯の有効性により、平成16年12月より所定の届け出の上認可を受ければ、青色回転灯を自動車に装備できると道路運送車両法が改正され、各地で続々と青パト隊が誕生し、パトロール活動が始まりました。

北野地区においても、平成17年12月「北野地区自主防犯パトロール隊」として青パト3台が登録され、巡回活動が開始されました。さらに平成22年3月に、北野地区の青パト隊に平岡地区の有志が加盟し地区が拡大したことから、平成23年4月に名称も「北野・平岡地区自主防犯パトロール隊」に変更し、両地区の青パト隊として現在に至っております。

自主防犯パトロールの目的は、犯罪者を捕まえることではなく、「犯罪、事故、災害の被害を未然に防止すること」、「地域のみなさんが安全に対する関心を高めること」、「パトロールに参加することで地域の連帯感を醸成すること」、「地域の犯罪抑止機能を向上すること」にあります。地域の安全・安心は、地域住民で自ら守り、人任せにしないことが大切です。

現在青パト隊は北野地区に、車両6台・人員7名、平岡地区に車両2台・人員2名で、地区の小・中学校を中心とした下校時間帯における見守り、声かけ活動を実施しております。長年の青パト隊のパトロール活動により、地域住民や子ども達にも青パト隊が徐々に認知され、巡回中深々と頭を下げられたり、大きな声で挨拶されたり、笑顔で手を振られる等、地域応援団が沢山おり、隊員として「元気をもらおうと共に、また頑張ろう」という、やりがいや生きがいが湧いてきます。

パトロール隊員一同、これからも「もうひと踏ん張り」の精神で、微力ながら地域の安全・安心のため尽力したいと思っております。



青パト隊発動式



青色回転灯パトロール



## 清田区交通安全指導員会・北野支部

北野地区では9人の交通安全指導員が活躍しております。

札幌市の交通安全指導員会は、全国的に交通事故が激増する昭和46年に会則が制定されました。

清田区では、新区後の平成9年に会則が制定され令和4年10月現在42名が在籍しております。

北野地区では、北野地区3小学校区（北野小学校、北野平小学校、北野台小学校）に各3名が配置され登下校時における通学路の主要交差点等で学童の保護誘導、学校行事への支援、更に交通安全指導や街頭啓発、夏祭り、花火大会時の交通整理等の活動に当たっております。

任期は、2年ですが再任される方が多く、長期任用者は間澤さんで41年間ついで斉藤さんの23年間となっており、また、最年長者は織田さんが89歳、平均年齢は79歳と高齢になっております。

出勤日は、月平均7日以上とされておりますが殆どの指導員は毎日通学路で活動しております。

このような活動等もあり交通事故の発生状況は、昭和46年が発生27,104件、死者数889名、負傷者38,879名でありましたが昨年（令和3年）は、発生8,304件、死者120名、負傷者9,598名まで減少し、交通事故死者ワーストワンを平成15年以降連続で返上を続けております。

また、北野地区では平成19年1月18日発生以後本年（令和4年）5月9日までおよそ14年間にわたり交通死亡事故の発生が抑止されました。



伊良原晴二さん



間澤五三男さん



高橋 信博さん



佐藤 憲弘さん



斎藤 勤さん



織田 光穂さん



国柄ひろ子さん



細川えみ子さん



## 北野少年消防クラブについて

北野少年消防クラブ 部長 山田 威洋

札幌市は昭和60年地域住民と消防機関が一体となって地域の防災活動を卒先する規律ある社会人となる基礎を築くことを目的として少年消防クラブを設立しました。

当クラブは防火・防災意識の普及を図る目的として、平成5年に結成され少年、少女で結成されている自主的な防災組織です。心身の基礎を作るうえで重要な時期にある少年、少女を防火教育を通じて団体活動による連帯意識を養い、地域の防火活動を卒先する健康で明るく規律、礼儀正しい社会人としての基礎を築き、将来社会人として地域の防火・防災リーダーとなるべく人材を育てることを理念としております。

### (活動内容)

- (1) 基本活動 少年消防クラブの仕組み、決まり、規律訓練、消防の仕事の学習
- (2) 応用活動 火災予防パトロール、防災訓練への参加、消防署の施設見学及び社会施設への防火慰問など

当クラブも規律訓練、ロープ結索、防災訓練への参加、町内会夏祭りに参加、消防署の車両見学、社会福祉施設への防火慰問、消火栓の除雪、合同視察研修等を行ってきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動は計画通りには行きませんでした。

少年消防クラブ員は小学1年生から6年生までと中学生が在籍しております。



合同入クラブ式



防災訓練



消火栓の除雪

## 札幌市清田消防団北野分団 25年のあゆみ

札幌市清田消防団北野分団 分団長 **滝本 優**

北野分団は昭和57年12月に豊平消防団清田分団から分かれ、当時の荒井喜一分団長以下48名で発足しました。（当時は北野分団と平岡分団は一諸でした）

平成9年清田区誕生とともに豊平消防団より分離し、札幌市清田消防団が新設され現在は本部、北野、平岡、清田、里塚の1本部、4分団が結成されました。消防団員は他に生業を持ちながら、特別職の非常勤地方公務員として「自らの地域は自らで守る」という崇高な精神に基づいた地域住民を中心とした組織で、災害はもとより地域コミュニティの振興にも大きな役割を果たしております。

主な活動は火災予防運動に伴う街頭啓発、山菜取りの行方不明者の搜索、地域町内会の防災訓練にて指導、春と歳末には夜間巡回パトロール、消火栓除雪等を実施しております。また毎年行なっていた（令和2～4年はコロナの関係で中止）清田消防団総合訓練大会では、早朝5時から訓練を行っており、その結果、平成29年、30年、令和元年に総合優勝3連覇を達成しております。

今年は、ホース点検放水訓練、平岡分団と合同で林野火災を想定した訓練、小隊訓練、町内会の防災訓練にて指導等を行っております。

これからも、北野分団は地域住民及び、清田区、清田消防署等と協力し、災害のない安全な街づくりを目指して努力していく所存であります。

尚、北野分団では、18歳から50歳までの健康で体力のある方を募集しておりますので、興味のある方は、清田消防署（883-2100）まで連絡をお待ちしております。



令和元年6月23日 消防総合訓練大会 総合優勝



消防団救命訓練



行方不明者搜索訓練

## 札幌市赤十字奉仕団北野分団

北野分団長 吉田 和子

奉仕団は令和4年度で38年目に成ります。最初は分団員120名以上でスタートしましたが、現在は奉仕団員60名に減少しました。奉仕団の活動内容を紹介しますと、コロナ前までの内容は、清幌園のシーツ交換、厚別川の草刈清掃救護班担当、北野ふれあい夏まつり「とうきび販売」、北野ふれあい夏まつり後清掃、北野地区防災避難訓練に参加して雑巾縫い奉仕、ウエス作りです。雑巾は北野地区小学校3校に100枚贈呈しました。ウエスは特別養護老人ホーム緑愛園、特別養護老人ホーム清幌園に贈呈しております。

雑巾縫い奉仕はコロナ禍でも、この3年間各団員さんが家で縫っていただいて、それを集めて3校の小学校へ贈呈しております。

ほかにも活動がありますが、これらが主な内容です。これからも奉仕団員の皆様に、ご協力いただくとありますが、よろしくお願い致します。



厚別川草刈り清掃



北野ふれあい夏まつり清掃集合写真



雑巾縫い風景



雑巾縫い集合写真

## 福祉のまち北野の歩み

福祉のまち推進センター 運営委員長 平山 加代



### 福祉のまち推進センターの役割

誰もが住み慣れた北野のまちで一生住み続けたいと願うのは当然です。たとえお一人暮らしになっても、たとえ身体に重い障がいをもつようになって、このまちで快適に暮らしていただける「福祉のまちづくり」を考え事業を進めるのが、福祉のまち推進センターの役割です。

### 福祉のまち推進センター開設



一瀬前委員長

平成8年4月24日開設し、平成12年に17の単位町内会・自治会の全てに福祉推進委員会を設置し、各関係機関、清田第一包括支援センター、介護予防支援センター（北野、平岡）、北野地区民生委員児童委員協議会、区社会福祉協議会の協力のもと、日夜活動を進めています。

平成30年迄は前委員長が開設以前から北野の福祉をになってきましたが令和元年よりバトンをたくされました。30年という長きにわたり、福祉に

携わり、ご苦労もあった事と思

いますが、17町会・自治会さんの福祉推進委員長をまとめ、又関係機関、学校等にも気くばりし幼児から高齢者迄の福祉を幅広く大きく支援の輪を広げてくださいました。本当に有難うございました。お疲れ様でした。



福祉推進委員会：「福まち」の支援や協力のもとに、地域福祉活動を展開する実行部隊となります

### 10年間の人の流れ【住民基本台帳より】

	平成25年4月1日			令和4年4月1日		
	世帯人数	高齢化比率	平均年齢	世帯人数	高齢化比率	平均年齢
札幌市	1.9人	22.1%	45.2歳	1.8人	28.1%	48.1歳
清田区	2.2人	21.2%	44.8歳	2.1人	30.8%	49.1歳
北野地区	2.1人	27.4%	47.3歳	2.0人	33.1%	49.9歳
平成10年札幌市	2.9人	13.0%	39.1歳	清田区は札幌市の中で10区中、4番目に高い高齢化率です（65歳以上）		

一人暮らし・夫婦のみの高齢世帯も増えています。住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、介護保険などと合わせて、専門職でなくても出来ることを、たすけあい生活していくことが大切になっています。

### 北野地区の福まちが大切にしていること

1. 人は地域の財産
2. 学生は地域の一員
3. 福まち事務所に誰かがいる
4. 良いと思うことは率先して真似る

## 福まちの活動状況

### 1. 遊布の会（防災頭巾）



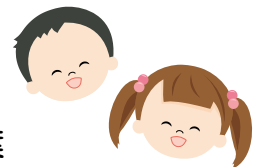
防災頭巾は高齢者福祉の一環として始めました。後に3校の小学卒業生に配布致しました。1着の着物から3枚の頭巾を作るのですが、材料の布は地域の皆様から寄付していただいた着物を、ほどき、洗いアイロン、裁断、縫うという本当に大変な作業です。内山さん、入谷さん、吉田さんの代表のもと20数年をかけ活動してきましたが、時代の流れでしょうか、令和4年で幕を締める事としました。ボランティアの皆様には感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



区2年目職員も見学、手仕事をしていました。



長期に渡り女性部長として幅広く、北野の女性に活力を与えてくれました岡さん（防災頭巾をかぶっている方）が写真におさまり、嬉しかったです。



### 子供達からのお礼の言葉

「心も身体も温まる防災頭巾は一生大切にしていきます。又今度は私達が地域に貢献していきたいと思っています。」



北野ふれあい夏まつりに福祉テントでは民生委員さんの協力で、高齢者の皆さんの接待、うどん、おでん、焼きそばそしてビール。年一回のおまつりに高齢者さんの笑顔が最高の日です



## 2. 一人暮らし高齢者への食事サービス

令和元年で終了しました。昭和63年から10人弱で500食作っていました。長きに渡りましたが、今となってはとても楽しかったですよ。中学生も民生委員の役員さんも真剣に頑張っていました。令和2年度からはささやかなプレゼント品配布。



民生さんごはんのグラム数ですか？



ならべる中学生も頑張っていました



お弁当作りが終わりホットひといき



きれいに盛付ができました

## 3. 福祉まつり（北野健康フェア）

平成元年地域の方々には雨にもかかわらず大勢の参加に感謝しました。その後の年もそれぞれの催し会場から、中学生の働く姿が「感じがいいね」と言葉をいただき中学生ボランティアさんの成長が楽しみでもありました。コロナ前までは児童会館を借りイベント等も盛り沢山でした。

コロナ禍で事業縮小、中止等で地域の皆様方にも事業を通しての人と人の繋がりが乏しくならない様、これからも感染対策をしながら活動を進めてまいります。福祉まつりの代替として健康フェアを開催しました。



みんなと楽しいひととき



講義を真剣に聞いています

# 町連10年のあゆみ



コーヒーはいかがですか



子供達の書道展



ソプラノの歌声にじびれています



北野のカレーは最高です



講演 自分らしく生きてますか



次はどの測定にしようか



健康チェック安定してますか？



介護者家族の集い

陽だまりひろば



心の拠り所を求めて



ご家族の方が安心して過ごせますように

子育て支援事業ポムポムタイム



クリスマス会伊藤会長よりおみやげです



ハロウィンのイベント  
所長よりお菓子のプレゼント



かわいい服ですネ

札幌市介護予防事業すこやかくらぶ「きたのくらぶ」



手・腕のびてますネ



楽しみのバス旅行



私達もプレゼントもらえるのー



長い巻きずし見た事ないネ



北野地区健康スタンプ帳



認知症徘徊訓練 声掛け模擬訓練



福祉除雪

申し込みされる高齢者の方が令和4年度 157人となっています。除雪協力員さん、中学生さん有難うございます



相談室



福祉相談

毎週月・水曜日 (13:00 ~ 16:00)

困りごとがある場合、気軽に相談をお待ちしております。

災害時要配慮者避難事業

平成22年度、全町内会、自治会で当該事業に取り組むことを決定しました。  
(福まち運営委員会)



避難支援で要配慮者に配布した救命医療情報ポスターです

福祉のまち推進センター「福まち」は社会福祉協議会の事業を具体的に実施する部門として開設。町内会単位の活動の集合体が福まちといえるのです。